



議会だより



主な内容

- ◆第4回定例会の開催結果…………… 2ページ
- ◆平成25年度決算状況…………… 4ページ
- ◆常任委員会視察研修報告…………… 6ページ
- ◆市政を問う、一般質問…………… 7ページ
- ◆審議結果一覧…………… 18ページ
- ◆議会報告会開催日程…………… 19ページ

■今号の表紙■ 平成26年10月19日、第37回飫肥城下まつり市中パレードのようす。

第4回定例会 平成26年度日南市一般会計 補正予算(第3号)などを可決

第4回定例会は、平成26年9月8日から10月9日の32日間開催され、平成26年度日南市一般会計補正予算(第3号)をはじめとする市長提出議案など、あわせて39件を審議しました。(審議結果につきましては、18ページの「審議結果一覧」をご覧ください。)

報告

■専決処分の報告について

①市道第二土地区画26号線の不全により発生した事故に関し、損害賠償の額を定めることについて専決処分したものです。

②日南市酒谷支所敷地内で発生した公用車の接触事故に関し、損害賠償の額を定めることについて専決処分したものです。

■平成25年度日南市健全化判断比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により、平成25年度決算に基づく健全化判断比率を公表したものです。(4ページの表をご覧ください。)

■平成25年度日南市公営企業資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、平成25年度決算に基づく資金不足比率を公表したもので、全体の会計で資金不足はありませんでした。

一般会計補正予算の概要

今回の補正額は4億2900万円で、活力ある産業・地域の創出や安心して暮らせる環境整備に要する経費などがあげられ、補正後の予算総額は、272億200万円となっています。

■生活困窮者自立支援事業

〔391万2千円〕

生活困窮者への相談支援や就労支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を促進するものです。

■ウッドスタート事業

〔183万4千円〕

飼肥杉の需要拡大及び木育の推進を図るため、企業と連携しウッドスタート宣言を行い、平成27年4月から乳児に飼肥杉製のおもちゃ等を贈呈するものです。

■電算システム更新事業

〔1469万7千円〕

社会保障・税番号制度に係る住民基本台帳システム、地方税務システム、障がい者システム等の改修等に要するものです。

■油津登録文化財管理費

〔357万6千円〕

近代建築物である油津赤レンガ館を、観光・歴史案内、休憩室及び多目的室、ワーキングスペース等に有効活用を図るものです。

【解説】

『コワーキングスペース』とは、仕事や作業等を行う共有の場所のことで、これらを利用する都会のIT起業家などのビジネスマンと地域住民との交流により、将来は起業家の誘致や定住に結びつけることが期待されます。

可決された主な条例

■油津赤レンガ館条例

油津赤レンガ館の保存と利用の促進により、遺産としての価値の普及を図り、もって本市のまちづくり及び地域経済の活性化に寄与

するため、油津赤レンガ館の設置について定めるものです。



新たな活用を図る油津赤レンガ館

■日南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法が公布され、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準について定めるものです。

■日南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の一部が改正され、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準について定めるものです。

■日南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の一部が改正され、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について定めるものです。

その他の主な議案等

■平成26年度日南市簡易水道特別会計補正予算(第1号)

〔1248万7千円〕

JR大藤踏切軌道敷内の推進工事に係る負担金の減額及び踏切改良工事の追加によるものです。

■日南市過疎地域自立促進計画の変更について

過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律が施行され、これまで旧北郷町の区域であった過疎地域が、平成26年4月1日から市全域になったことに伴い、変更したものです。

■人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

現委員の任期満了に伴い、新たに4名の方の人権擁護委員への推薦に同意したものです。
・福田紀行氏(留任)

議員提出議案

■森林整備加速化・林業再生事業の継続を求める意見書

【主な内容】

- ① 一体的な対策を継続的に取り組むことのできる森林整備加速化・林業再生事業の延長・拡充を図ること
- ② 地方が主体的、弾力的かつ機動的に取り組めるよう複数年の基金として措置すること

- ・山田 哲雄 氏(留任)
- ・郷谷 須磨子 氏(留任)
- ・若林 重美子 氏(新任)

■森林整備加速化・林業再生事業の継続を求める意見書

以上2点について、地方自治法第99条の規定により、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、内閣官房長官に意見書を提出するものです。

■ウイルス性肝炎患者に対する医療助成の拡充を求める意見書

【主な内容】

- ① ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
 - ② 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること
- 以上2点について、地方自治法第99

条の規定により、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣に意見書を提出するものです。

委員会審査から

付言された主な意見・要望

■議案67号 平成26年度日南市一般会計補正予算(第3号)

〔予算審査特別委員会〕

電算システム更新事業については、情報の一元化による効率化は理解できるが、情報セキュリティについて、最善の対応を図るよう強く要望する。

■議案69号 平成26年度日南市簡易水道特別会計補正予算(第1号)

〔建設水道委員会〕

大島における水の問題について、今後さらなる検討を行っていただきたい。

■議案76号 日南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

〔厚生委員会〕

児童1人当たりの専用区分の面積及び一の支援の単位を構成する児童の数について、5年間の経過措置を設けているが、できるだけ早く基準を満たすよう努力されたい。

平成25年度一般会計歳入歳出決算などを認定

認定第1号「平成25年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について」など認定12件と議案第66号「平成25年度日南市水道事業未処分利益剰余金の処分について」を、議長及び議会選出監査委員を除く議員で構成する決算審査特別委員会において、10月2日から3日の2日間審査を行いました。採決の結果、平成25年度の各種会計決算を認定しました。

会計別決算の状況

●一般会計		(単位：千円)		
区分	歳入	歳出	差引	
一般会計	28,728,617	27,903,768	824,849	
●特別会計		(単位：千円)		
区分	歳入	歳出	差引	
国民健康保険	9,190,457	8,522,427	668,030	
後期高齢者医療	786,384	780,877	5,507	
介護保険	5,965,466	5,899,994	65,472	
簡易水道	543,390	530,392	12,998	
農業集落排水	32,414	30,504	1,910	
漁業集落排水	23,567	21,597	1,970	
公設合併処理浄化槽	130,058	105,113	24,945	
計	16,671,736	15,890,904	780,832	
●企業会計		(単位：千円)		
区分	収入	支出	差引	
病院事業会計	収益的収支	1,112,550	1,176,424	△ 63,874
	資本的収支	58,775	137,972	△ 79,197
公共下水道事業会計	収益的収支	685,600	673,892	11,708
	資本的収支	772,352	1,051,255	△ 278,903
特定環境保全公共下水道事業会計	収益的収支	94,963	91,941	3,022
	資本的収支	155,920	199,796	△ 43,876
水道事業会計	収益的収支	1,085,496	988,928	96,568
	資本的収支	149,904	642,216	△ 492,312

※病院事業会計、公共下水道事業会計、特定環境保全公共下水道事業会計および水道事業会計の資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などでの補てんがされており、現金収支における損失はありません。

健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	- (△4.61)	- (△20.86)	13.0	111.3

① 実質赤字比率の「-」は、実質赤字額がないことを示しています。
② 連結実質赤字比率の「-」は、連結実質赤字額がないことを示しています。
③ 黒字の場合は、参考値として下段に比率を()で表示しています。

討 論

■認定第1号 平成25年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について
【反対討論】
①税徴収における差し押さえのあり方について疑問である。相談したくても、追い詰められて孤立状態の滞納者がいるのも事実である。困った市民に頼りにされる市役所になるべきである。
②子育て支援を強調するのであれば、事業費全体を増やす努力をすべきである。
③一握りの者だけに受験勉強の場を与える予備校派遣事業は、行政が行うべきではない。

■認定第2号 平成25年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
【反対討論】
4年連続の保険税引き上げは、市民の暮らしを苦しめている。一般会計からの財源補てんのあり方について、更に検討されるべき時期にきている。

■認定第3号 平成25年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
【反対討論】
今後、後期高齢者の増加に伴い保険料もさらに上がることが見込まれる。高齢者が安心して老後を過ごせない仕組みを根本から変える必要がある。

分科会審査より

第1分科会

総務文教部門

【問】北郷町総合支所の庁舎利用における使用料が低額になっているが、使用料の算定根拠はなにか。
【答】固定資産評価額を基に算出している。

【問】消防団員の研修を実施されているが、対象者はだれか。
【答】部長クラスである。

【問】中心市街地活性化事業に係る、定住関連事業の実績が非常に少ない。どのようにニーズ等を分析しているのか。
【答】9月補正予算にて執行したため、市民等への周知期間を含め、事業期間が短かった。平成26年度の実績も含めて分析し、見直しを図りたい。

【問】平成25年度に購入した避難者用備蓄品を含め、どの程度用品等を備蓄しているのか。
【答】食料が11600食、その他粉ミルク、毛布、大人用・子供用の紙おむつ、生理用品等を備蓄している。

【問】市長旅費をみると、市長は精力的に活動しているようだが、出張回数ほどの程度か。また、どの程度庁外に出ているのか。
【答】トップセールスで約30回程出張している。その他会議等への出席を含めると、月のうち10日から20日程、庁外に出ている。

第2分科会

厚生部門

【問】粗大ごみ等収集事業について、年2回実施しているが、市民から回数を増やしてほしいなどの要望は出していないか。
【答】自治会によってさまざまである。

【問】中長期在留者居住地届出等事務費について、外国人住民登録者数は350人となっているが、特に多い国はどこか。
【答】インドネシアが193人、中国が87人、フィリピンが30人などとなっている。

【問】中部病院の特別損失が多いが、内容はどのようなものか。
【答】過年度損失や企業会計法の見直しによるものである。

【問】子ども・子育て支援事業計画策定事業について、具体的にはどのようなことをやったのか。
【答】平成25年度と26年度の2ヶ年事業であるが、25年度は主に保育事業についてのアンケートを2400部配布しておこなった。

【問】地域医療対策事業について、救急医療電話事業の委託料は妥当か。また、相談件数はどのくらいあるのか。
【答】委託料は全国的に見て割安であると考えている。相談件数は平成22年5月から運用しているが、毎年700件前後である。

第3分科会

産業経済部門

【問】幹線用排水路は道路横にあるものが多いが、安全上は問題ないのか。
【答】フェンスを設置するなどしている。また、今後、土地改良区との調整が必要な場所もある。

【問】企業誘致のこれまでの成果として、何社あるのか。また誘致企業に対して訪問を実施しているか。
【答】合併後、誘致・増設を含めて16社立ち上がった。企業へは県と一緒に訪問している。

【問】震災対策のため池等のハザードマップの作成とあるが、どのように活用していくのか。
【答】危機管理室と連携し、防災マップの利用と合わせて、減災、防災に努めていく。

【問】公有林整備事業等で餌肥杉伐採を行った後、植栽する苗として花粉の少ない少花粉スギ又は花粉の出ない無花粉スギは取り入れているのか。
【答】現状は把握していないが、今後は少花粉スギ、無花粉スギについて、研究していく。

【問】新規就農者を支援する事業があるが、成果はでているのか。
【答】この事業は3年後、5年後を見ていかなくはならない事業だと考えている。就農者の自立に繋がるような支援を行っていく必要がある。

第4分科会

建設水道部門

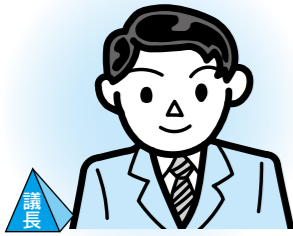
【問】市営住宅で入居者が動物を飼っているが、飼っても良いのか。
【答】市営住宅で動物を飼うことはできないので、そのような事実が判明次第、市営住宅の明け渡しも含めた指導を行っている。最近でも、犬と鳥を飼っていた入居者がいたので、指導して改善を図ったところである。

【問】水道事業において、新たに拡張整備を行うなどの考えはあるのか。
【答】水道事業は、今後、給水人口の減少等で、収益の減少が予測される。一方で、施設の老朽化に伴う更新や耐震化対策が必要である。新たな「水道ビジョン」を平成26年度中に策定し、その中で、日南市水道事業の将来のあるべき姿を決めていきたいと考えている。

【問】ふれあい道づくり事業において、市民からの申請に基づいて里道の舗装を実施しているとのことであるが、優先順位はあるのか。
【答】優先順位は、基本的に受付をした要望順で行っている。なお、要望する際には、関係者の同意書が必要となるので、その点は注意していただきたい。

【問】公設合併処理浄化槽の実績と、今後の設置についてどのように考えているのか。
【答】浄化槽設置実績は、平成24年度が123基、平成25年度が148基であった。今後は、南郷及び鶴戸地区で住民説明会を実施して設置の促進を図る予定である。

市政を問う!



一般質問

平成26年第4回定例会における「市政に対する一般質問」は、9月18日から24日まで(休日を除く)の4日間行われ、19人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。また、今定例会から試行的に、質問の方法を「①一括方式(現行方式)」、「②一部壇上方式」、「③一問一答方式」より、議員が選択して実施しました。

- ①一括方式とは … 議員が一括して壇上で質問し、市長が壇上で一括して答弁した後、再質問を質問席で行う方式です。(今までがこの方式です。)
- ②一部壇上方式とは … 議員が質問の一部を壇上で質問し、市長が壇上で答弁した後、議員が質問席から一問一答でやり取りする方式です。
- ③一問一答方式とは … 議員が冒頭から質問席で市当局と一問一答でやり取りする方式です。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会議会棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。詳しくは、日南市議会事務局(電話:0987-31-1142)までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- ① 坂元 啓一 議員(一部壇上) [チョウザメ養殖日本一を目指す答弁に関して、新しいブランド認証農作物に関して、6次産業化問題に関して]
- ② 深川 保典 議員(一括方式) [日南駅前整備計画の作成を求む、タトゥー(刺青)問題について、デジタル・タトゥー問題について、中部病院問題について、飼肥杉世界展開プロジェクトについて]
- ③ 磯江 純一 議員(一括方式) [油津コーヒーについて、(株)油津応援団について、サポマネについて、赤レンガ館について、防災について、オラレについて]
- ④ 小玉 弘明 議員(一括方式) [日南における第一次産業、第二次産業について、油津地区の振興について、スポーツ施設の指定管理への移行について、防災意識を高める市道や里道のインフラ整備について、学校教育について]
- ⑤ 川口 和也 議員(一部壇上) [保育料算定における未婚・非婚の寡婦控除について、直方市の「公契約条例」について、教育について、鳥獣保護法改正について、酒谷地区の整備について]
- ⑥ 林 一彦 議員(一部壇上) [生活困窮者自立支援事業について、子どもの貧困対策について、子ども・子育て支援法について、空き家条例について、議会と行政との関係について]
- ⑦ 黒部 俊泰 議員(一部壇上) [地域包括ケアシステムについて、防災について、学校給食のアレルギー対策について、期日前投票について、商工振興について]
- ⑧ 鈴木 教夫 議員(一問一答) [教育行政について]
- ⑨ 和足 恭輔 議員(一部壇上) [廃プラ分別収集について、防災・減災対策について、婚外子の保育料等のみなし寡婦控除の実施について、高齢者保健福祉計画・第六期介護保険計画について]

常任委員会視察研修報告

総務文教委員会

総務文教委員会では、5月20日から22日にかけて、秋田県大仙市、栃木県足利市を視察しました。

大仙市では、『小中学校における学力向上の取組』について研修しました。大仙市は、「学校力を高め、家庭・地域社会に信頼され、子どもたちの『生きる力』(人間力)を豊かにする学校教育」という基本方針のもと、自立した人材の育成のため、学校・家庭・地域が連携し、「それぞれが当たり前前」の当り前をやる、「一人一人の子どもを複数の目で育てる」取り組みがされていました。

大仙市はもちろん、秋田県全体が、長い時間をかけて教育に力を注ぎ、その結果が現在の全国学力テストトップという結果にも繋がっていることを実感することができました。

また、足利市では、「いち課いち押し事業」について研修しました。

この事業は、市の各課が実施している施策のうち、県内ひいては全国でも先駆けとなる取り組みをインターネットでPRしている事業とのことで、この取組が市内外に足利市の魅力を発信できることはもちろんのこと、職員が常に日頃の業務を振り返り、更に向上させることにつながっていました。

厚生委員会



視察研修のようす

厚生委員会では、5月14日から16日にかけて、千葉県柏市、神奈川県三浦市及び埼玉県熊谷市を視察しました。

まず、柏市では今後の高齢化社会に向けた先進的な取り組みである「長寿社会のまちづくり(在宅医療連携拠点事業)」について視察をしました。

次に、三浦市では「市立病院の経営健全化の取り組み」について研修を行いました。三浦市では赤字だった市立病院が、様々な経営努力により黒字に転じたとの説明を受けました。

最後に、子育て施策が充実している熊谷市で「熊谷子育て応援プロジェクト」について研修を受けました。

産業経済委員会

産業経済委員会では、5月20日から22日にかけて、山形県鶴岡市、新潟県三条市を視察しました。

鶴岡市では農林漁業者、生産者団体等を対象にした支援事業として「農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業」について研修を受けました。

これは地元産品の流通、利活用により産出額拡大を目指す取り組みを支援するものです。

また、学校給食での地元産品利用の取り組みもされており、利用率が年々上がっているようです。

次に三条市では産業振興施策としての取り組みである「売れるものづくり・しくみづくり支援事業」、「新商品開発のための各種マッチング会」について説明を受けました。

「売れるものづくり・しくみづくり支援事業」は技術開発・製品開発から販路開拓までを一貫支援していくもので、ビジネス直結型の支援となっています。

また、昔から「三条鍛冶」といわれる金物工業が盛んな地域で、国内外へ製品が販売されています。

その一方で基礎技術の継承も産業振興施策のひとつとされており、「経営力向上人材育成」や「新規鍛冶人材育成」などの取り組みに対する支援を行っています。

建設水道委員会

建設水道委員会では、5月14日から16日にかけて、秋田県湯沢市、静岡県沼津市を視察しました。

まず湯沢市では、合併特例債を財源に平成26年1月に完成したばかりの新庁舎建設(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・4階建)について研修を受けました。

昭和31年に建設された本市庁舎は、耐震性能の不足、老朽化による設備等の経年劣化、事務室の狭隘化等の問題があることから、新庁舎建設に至るまでの経過、取り組みを参考にするとともに、市民アンケートの味や、意見等を庁舎建設に反映したのかなどの意見を伺いました。

次に沼津市では「津波避難タワー」について研修を行いました。延長距離約63kmの海岸線を有することから、津波避難タワー建設に早くから着手し、現在、海岸部に4基の避難タワーを保有しており、今回、津波避難タワーの設置場所や構造、平常時の管理状況等について研修を受けました。

地理的に似た海岸線を有する本市においても、人命を守るため津波の際の避難場所の確保は必要であり、特に高所の避難場所の無い地域においては、津波避難タワーが必要であることを再認識する一方で、管理面での見直し等が今後の検討課題であるとの意見を伺いました。

- ⑩ 井 福 秀 子 議員（一括方式） [子ども・子育て支援新制度の内容と課題について、防災対策について、再開発成功の丸亀町商店街を学んで、日南市中心市街地活性化事業を考える]
- ⑪ 倉 岡 郁 夫 議員（一部壇上） [検診率向上策について、危機管理について、子ども議会について、建設・土木行政について、水産林政課予算について、ふるさと納税制度について、北郷多目的グラウンドについて、女性幹部登用について]
- ⑫ 中 尾 貞 美 議員（一括方式） [飲肥地区の各種事業について、道路、河川及び交通安全施設の整備について、ふるさと納税制度の活用充実について、林業の推進について、会派視察研修を通して、文化財等の推進について]
- ⑬ 濱 中 武 紀 議員（一括方式） [平成25年度決算について、ジェイズの土地について、森林活用について、農業改革について、燃油対策について、地方創生について、土砂災害等について]
- ⑭ 田 中 重 信 議員（一問一答） [都市計画マスタープランについて、活性化対策について、中部病院の経営改革について、自治会との協働で取り組む高齢社会対策について]
- ⑮ 川 越 昇 議員（一部壇上） [地域活性化について、農業振興について、健康づくりについて、組織改革について]
- ⑯ 谷 口 慎 二 議員（一部壇上） [ふるさと納税について、農業振興について、大島再生について、公共施設等管理計画策定について]
- ⑰ 松 本 弘 議員（一括方式） [観光行政について、人口減少対策について、行政改革について、竹香園再生について]
- ⑱ 甲 斐 登 議員（一部壇上） [市長の政治姿勢について、防災について、まちづくりについて、医療費の抑制について]
- ⑲ 井 上 進 議員（一括方式） [油津港の整備見直しについて、市道平野線の整備状況について、国道222号のバイパス整備促進について、観光対策について、津波・地震対策について、法定外道路の管理について、日南市の地籍調査の進捗状況について]



日南ルネサンス 深川 保典 議員

日南駅前整備計画作成を求む

(問) 日南駅前とその周辺の寂れようは尋常ではない。駅舎の建て替えと本庁舎建て替えをセットにして中期ビジョンを立てるべき。

(答) 一体的な施設づくりは大切です。新庁舎建設の検討委員会も立ち上げたが、多大な費用を要するため慎重に進めたい。現在駅舎の建て替え計画はないと聞いている。

(問) こちらからJR九州に働きかけない限り動かないと思う。より積極的に踏み込むべきだ。

(答) 今後検討する。

デジタル・タトゥー問題

(問) 「リベンジ・ポルノ」の違法性や「自画撮り」の危険性について教育現場で徹底指導しているか。

(答) 「情報モラル教育」については、市内のすべての学校で「総合的な学習の時間」や「道徳」「特別活動」で具体的指導をしている。

中部病院について

(問) 定期健診やスポーツ医学、リハビリ等に特化した病院として再生の実現性はあるか。

(答) 民間医療機関が担えない政策



JR九州と日南市の合築で、日南市の中央駅に相応しい駅舎が望まれる。

飢肥杉世界展開プロジェクト

医療や不採算医療を担いつつ、県立病院との機能分担を図り、回復期リハビリテーション機能、在宅医療機能、救急医療機能を担う。

(問) ニューヨーク・ギフトショーにObisugi Designを出展したが、その影響や手応え、そしてこれを一過性のものにしないうための今後の取組み方を問う。

(答) 商品の高度な技術に驚かれる等、好評であったようだ。その一方で販売の面で、商品の価格帯や関税、物流などに課題があるとのことだ。民間主導のプロジェクトだが、飢肥杉ブランド確立のため、環境整備したり後押しができるよう今後研究検討して行きたい。



日南ルネサンス 坂元 啓一 議員

チヨウザメ養殖日本一を目指す答弁に関して

(問) 昨年に発売された「宮崎キャビア1983」は、何軒の生産者からどれだけ取れて、生産額はどれ位になったのか。

(答) 宮崎キャビア事業協同組合によると、製造数量は15キロで買い取り価格は、同組合において決定され、非公開である。

(問) 新規養殖を始める場合、一般的な養殖場の広さや池の数、稚魚一匹の値段、年間のエサ代等はどれくらいかかるのか。

(答) 県水産試験場の販売する単価は、一尾100円から180円程度で、餌代は一袋20キロ入りで、税別の4200円である。なお、その他については、県は回答できないとのことであった。

(問) 養殖池に河川の水を取水する場合、「沢」のような小川も河川法が適用されるのか。

(答) 適用とはならない。

(問) 条例には触れないのか。

(答) 日南市法定外公共物の管理に関する条例に基づき、流水占用の

新しいブランド認証農産物に関して

(問) 今年のオリーブの出来はどうだったのか。

(答) 10月には、全体で20キロ程度の収量を見込んでいる。

(問) 今年こそは日南産のオリーブオイルが見られるのか。

(答) 20キロの果実で、約2リットルできる。

(問) 今後の見込みはどうなっているのか。

(答) 平成28年度には、収穫量を300キロにしたい。

(問) 果樹のアボカドは、どういった農作物なのか。

(答) 中央アメリカ原産の果樹で、日本で販売されているものは、ほとんどがメキシコ産である。果実は200から300グラムの大きさで、良質な脂質が豊富で、「森のパター」とも呼ばれている。本市においても露地栽培が可能で果樹だと考えている。

(問) アボカドの苗木購入補助を検討する考えはないか。

(答) 現時点では考えていないが、県産熱帯作物支場では、昨年度から研究に取り組みされているので、市としても調査していきたい。



無党派 磯江 純一 議員

油津コーヒーについて

(問) 4月にオープン以来、約4ヶ月過ぎたが、現状をどのように判断されているのか。

(答) 毎月、目標以上の売上げを維持されており、順調な経営であると聞いている。

(問) 油津コーヒーの現状で、社長が代表となっている多世代交流モール(仮称)等、周辺全体の経営を任せる方針なのか。

(答) この事業は、国から1億円、市から5千万円助成するものであり、民間事業(株)油津応援団を支援したいと考えている。

(株)油津応援団について

(問) 発行可能株式総数が60株から120株に、発行株式の総数が9株から51株に、資本金の額が90万円から510万円に変更登記されているが、これは1株10万円と認識しているのか。51株は、サポマネを含む4人の代表が所有されているのか。

(答) 株式の価額は、1株10万円とし、3株を1口とした30万円の出資者を募集されており、現在、4人の



油津コーヒーのようす

役員を含む17人が所有されていると聞いている。

(問) 出資1口1万円と1口30万円の応援団からのお金は、どのような扱いになっているのか。

(答) (株)油津応援団によると、株主には定期的に事業及び会計の報告、1万円の応援サポーターには、決算期に年間の活動報告を行うと聞いている。

(問) 設立目的として11項目あるが、民間と競合することが考えられる。市は、認識されているのか。

(答) 設立の趣旨を踏まえ、周辺事業者への影響にも配慮したと聞いている。民間企業の経営方針について、市が見解を述べるべきものではないと考えている。



無会派
小玉 弘明 議員

日南市における第一次産業、第二次産業について

(問) 第一次産業、第二次産業をどのように考えているのか。

(答) 雇用機会の拡大、安定した所得水準の維持、若者の定住、地域経済の活性化等に欠かせない基幹産業であると認識している。

(問) 米価格の低迷をどのように捉えているか。

(答) 今年の様な米価格で推移した場合、農業経営は元より、更なる農業離れや、それに伴う耕作放棄地の増加が懸念される。水田農業における対策は急務である。

油津地区の振興について

(問) 大型クルーズ船乗客の市内観光への取り込み策を問う。

(答) 来年の9月に9万トントクラスの大型クルーズ船の寄港が予定されている。16万トントクラスのクルーズ船の場合、約4千人の乗船客がツアーバス約90台で観光される事になるので受入体制の充実が大変重要な課題となる。

スポーツ施設の指定管理者への移行について

(問) 「今までより利便性が悪くなるのでは」との声を聞くがどうか。

(答) 民間の能力とサービスを最大限に活用する提案者を適格に選定するので、低下する事はない。

防災について

(問) 天候の変化により集中豪雨等の対策や対応を問う。

(答) 道路や冠水等には早急にバリアケード等による通行止め等の安全対策を行う。大雨の場合は防災メールや防災行政無線等により市民の方々に事前の災害に対する準備等をお願いを行っている。

学校教育について

(問) 少子化に伴う学校教育のあり方をどのように考えているか。

(答) 宮崎県の基準に基づく学級編成にしている。すでに学級25人を下回っている学級も少なくない。

本市は非常勤講師を20名配置しそれぞれの学校の実態に合わせてより細かな対応が可能となる取組に力を入れていく。迅速な対応や支援を行える事業の充実にも努める。

(問) 今後、学校の2学期制を採用する計画はあるか。

(答) 従来の学校教育制度の良さを大切にしながらい、今後も3学期制を継続して行きたい。



社民クラブ
川口 和也 議員

保育料算定における未婚・非婚者のみなし寡婦(夫)控除について

(問) 未婚・非婚のひとり親は「寡婦(夫)控除」対象外のため、保育料に差が生じている。同じ処遇の子どもに、差別が生じているが、市長の所感を問う。

(答) 子どもに不利益を及ぼすことのないように、支援策も必要と考えている。これまでの検討を踏まえ、平成27年度の実施に向けて取り組んでいく。

《解説》所得税法は、死別や別離による、ひとり親が扶養親族である子を有し、かつ、合計所得金額が500万円以下の者は、男性親が27万円、女性親が35万円の控除があります。みなし寡婦控除制度は、現在、延岡市が実施、宮崎市は検討中です。

酒谷地区の整備について

(問) 坂元柵田に公衆トイレを設置できないか。

(答) 地元要望も出ており、重要な景観にも選定され、観光客の増加につながるため、地元での維持管理が可能か再検討をしていた



社民クラブ
林 一彦 議員

生活困窮者自立支援事業について

(問) 来年4月から生活困窮者自立支援法が施行される。厚労省は義務付けられた業務のほか、市区町村が任意の生活支援策を積極活用するのが不可欠とみている。

今回の補正予算で生活困窮者自立支援に関する事業が計画されているが、本年度は、具体的にどのような事業を取り組むのか。

(答) 本年度は、生活困窮者からの相談に応じ、困窮者が抱える課題の評価・分析、自立支援に向けたプランの作成、生活全般にわたる包括的な支援を行うための関係機関との連絡調整等の支援を行う自立相談支援モデル事業に取り組み、支援体制の構築を図る。

(問) 来年度から生活困窮者自立支援法が施行される。具体的にどのような事業を取り組むのか。

(答) 自立相談支援事業に加え、必須事業となる、職を失ったことにより住宅を失った、又は、その恐れの高い困窮者に対し、就職活動を行うことができるよう期間限定で家賃相当額を支給する住宅確

保給付金事業に取り組む。また、任意事業として、就労に向けた動機づけや基礎能力の形成を図る就業準備支援事業、一定期間の宿泊場所や衣食の提供を行う一時生活支援事業、家計収支等に関するプランの作成等を行う家計相談支援事業、子どもに対し学習の援助等を行う学習援助事業があるが、当面は、必須事業の2事業に取り組み、任意事業については、相談者のニーズ等を把握した上で検討する。

(問) 生活困窮者自立支援事業はどの部署が担当するのか。

(答) 担当部署は福祉課保護係が所管するが、事業の実施については、生活困窮者に対する支援は、単に関係機関を紹介するだけでなく、本人が抱える問題の評価・分析、自立に向けたプランの作成・指導など多岐にわたることから、相談支援等の実績を持つ日南市社会福祉協議会に委託する。

(問) 空き家条例について

(答) 条例化までの対策を問う。ロールの強化とともに、特に、倒壊の恐れや、衛生上、景観上、問題のある空き家は、所有者等に対して自主的な改善を促していく。



公明党日南市議員
黒部 俊泰 議員

期日前投票について

(問) 期日前投票は、投票所において住所、氏名、投票ができない理由を記入するが、高齢者の方などは、その記入に相当の時間を要すると伺っている。現在、多くの自治体で、市のホームページを活用して、期日前投票宣誓書の用紙をダウンロードできる。自宅で、宣誓書を記入して期日前投票所に行くことで、選挙事務の効率化や投票率の向上などが期待される。市は、いつからこのようなサービスを開始するのか。

(答) すでに実施している自治体では、インターネット環境から簡単に入手できることから、サービスの向上につながったとのことである。今年の12月に執行される宮崎県知事選挙から、ホームページよりダウンロードできるように準備したいと考えている。

防災について

(問) 6月議会でも質問したが、津波避難困難者が多く生活されている大堂津公民館周辺は、集会所の機能を持つ複合型の避難施設と



集会所の機能を持つ、複合型の津波避難施設が期待される大堂津地区

き、柵田に近い、坂元地区公民館のトイレ改修を含め、地元との協議を行い検討する。

(問) 坂元柵田展望台までの道路に離合箇所の増設は出来ないか。

(答) 利用者の通行に支障をきたしているため、離合箇所の拡大が可能か調査を行う。

(問) キャンプ場も含め酒谷コミュニティセンターの老朽化が進んでいるが、その抜本的な維持補修の対応を問う。

(答) 本年度も、管理棟、コテージデッキ、体育館の床の修繕を行っている。各施設ともに開設から年数がたっており老朽化は避けられないので、その都度改修を行い、維持管理に努めていく。



柵田への道路状況
待避所が設置されているものの、傾斜が急で距離もあり離合が難しい

して、整備してほしいとの意見がある。大堂津は、津波が来ても避難が難しい地域として指定されてからこれまで、抜本的な対策を取られてこなかった地域である。区民のニーズに対して充分に応える対策をとるのが重要と考える。大堂津は、複合型の避難施設を整備するべきと考えるがどうか。

(答) 現在、津波が想定される市内沿岸部を対象とした、市内43地区の地元説明会を開催している。大堂津は、唯一、私も説明会に出席した。

現在、国や県との事前協議を進めているので、具体的な整備計画の内容については、今年度中に示していきたいと考えている。



公明党日南市議員
鈴木 教夫 議員

教育行政について

(問) 文部科学省は全国学力テストの結果を一定の条件の下で、今回から学校別成績の公表を解禁したが、市教育委員会は、どう判断しているのか。

(答) 県は3つの教育事務所別の平均正答率を公表。しかし、学校の公表はしない方針。本市においては、小規模学校が多く、学校別の公表で個人が特定される可能性があることや、学力調査の結果は、学力の一部であることに鑑み、教育委員の全会一致で公表しないと判断している。

(問) 2014年度全国学力テストの結果はどうだったのか。

(答) 本市の小学6年生は、基礎的な力を問う国語Aでは、全国及び県平均をいずれも上回っている。学力を問う国語B及び算数A、Bについては、全国及び県平均を若干下回っている。中学3年生は、数学科A、Bが全国及び県平均を上回り、国語Aは県平均を上回ったが、全国平均は若干下回っている。また、国語Bは、全国及び県平均を

若干下回っている。

(問) 教育現場で新聞活用が広がっている。新聞購読で平均正答率が高く、学力向上に効果があるというデータも出てきているが、十分活用されているのか。

(答) 現行の学習指導要領にも、積極的に新聞を活用することが明記されている。昨年度は小中学校の図書主任を対象に指導法等の研修を実施。本年度は、鶴戸小中学校が、県のNIE(教育に新聞を)推進校に指定され、新聞活用に関する研究を行っている。今後は、この研究を市内の小中学校に広め、NIEを推進していきたい。

(問) 総合計画で小中連携、小中一貫教育を推進し、学力向上に努めていくとのことだが、効果は出ているのか。

(答) 北郷小中学校は施設一体型として開校し6年目を迎える。全国学力・学習状況調査及び、小学2年から4年、中学1年で実施している日南市総合学力調査の結果、学年によってばらつきはあるが、ほぼ全国平均に近い結果がでており、また、英語教育にも力を入れており、中学校における県英語一斉テストでは、県平均を上回る成果がでてい



日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員

廃プラスチック分別収集について

(問) 市は、平成29年度から実施予定の廃プラ分別収集に向け、昨年度からモデル事業に取り組んでいるが、来年度はどうするのか。

(答) スムーズに廃プラ分別収集を導入できる体制づくり、収集運搬に必要な集積所の数量と配備車両台数など、委託内容の検証、必要となる処理施設の能力や人員数など、基礎数値の確認を目的としたモデル事業は、今年度で完了し、次年度以降は、実証成果を基に、啓発方法、分別基準、搬出方法、収集体制、処理体制等の構築に取り組んでいく。

(問) 昨年度と比較して今年度のモデル事業の分別収集の徹底具合はどうか。

(答) 昨年度のモデル事業では、スタート時、不適混入物の不適率が18%であったが、最終的には10%に落ち着いた。今年度のモデル事業実施地区では、昨年度の実例を示して、説明会を行ったこともあり、事業をスタートして一ヶ月程だが、不適率は9.5%と低

く、非常に優秀な数字を表しているものと思っている。

婚外子の保育料等のみなし寡婦控除の実施について

(問) 平成27年度の実施に向けて取り組むとのこと、市長の決断を大いに評価したい。だが、この問題の本質は、親の結婚歴のあるなしで、経済的不利益が子どもに及ぶという子どもの人権問題である。この際、市営住宅の家賃も見なし控除すべきと考えるがどうか。

(答) 市内の非婚のひとり親を対象に見なし控除を適用しても、現在のところ家賃に影響する事例がないので考えていない。現状を見極めながら対応していきたい。



毎水曜日の不適合混合物等の仕分け作業
(運搬先のクリーンセンター内)



日本共産党日南市議員
井福 秀子 議員

子ども・子育て支援制度の内容と課題について

(問) 新制度での小規模保育の保育士資格は、B型施設は5割、C型はゼロでもよいとなっている。昨年の認可外保育施設の死亡事故は認可施設の45倍であったが、保育の条件は等しく保障すべきだ。

(答) 職員数の配置基準は保育所より厳しくなっている。

(問) 家庭的保育事業の給食では、外部搬入が可能となるが、自園方式の調理員配置を原則とすべきだ。

(答) 搬入施設は、連携する保育施設や社会福祉法人等に限られている。また、管理体制や栄養士等からの指導が義務付けられている。

(問) 新制度について、保護者、保育関係者への十分な周知が必要だが、説明会はされるのか。

(答) 関係施設には説明会を実施した。保護者へは10月下旬に、市内3会場で実施する予定である。

防災対策について

(問) 今回の災害対策訓練は、ブラインド訓練で、緊迫感もあり、ためになったが、訓練の成果と反省点を

どうとらえているか。

(答) おおむね良好で、緊迫感のある訓練ができた。大規模災害時は、関係機関との協力体制が大切であることを改めて認識した。

(問) 静岡県袋井市の防災対策は、人命被害はゼロの目標で10年間の長期計画である。先進地域に学び、具体的対策をとる考えはないか。

(答) まずは自助、そして共助、公助という防災対策の基本を踏まえ、避難施設や避難路の整備事業を積極的に取り組んでいく。

中心市街地活性化事業について

(問) 高松市丸亀町は、コミュニティが現存し、地元主導で本気の覚悟のもとに、土地の所有権と使用权の分離を行い、再開発のまちづくりに成功している。参考になるところはあるか。

(答) 見習う部分が多く、地域住民も一役を担ってもらい取り組みを進めたい。

(問) 日本共産党市議団は市民アンケートを行い、この事業についても「期待している」32%、「期待できない」45.8%であった。この結果の感想はどうか。

(答) まだ事業全体が見えない部分があるうえで結果だと思ふ。



改政クラブ
倉岡 郁夫 議員

検診率向上策について

(問) 各種の検診で、検診率は目標値に届いていないが、今後どのような向上策を考えているのか。

(答) 自治会、健康づくり推進員、食生活改善推進員、元気にちなん応援隊の皆さんなどとの地域協働による受診勧奨や、「健康にちなん推進班」による未受診者への電話勧奨や戸別訪問、それに、日曜検診や集団検診の拡大、防災行政無線を活用した受診の呼びかけ、健診受診の啓発看板の設置などの取り組みを行っていく。

(問) 公用車全車に、検診受診の啓発ステッカーを張って、検診の呼びかけをしたらどうか。

(答) 市民への周知に大変効果的な方法であるので、現在、作成準備を進めている。早期の実施に努めていく。

危機管理について

(問) 8月下旬に開催された総合防災訓練は、素晴らしい訓練場と環境の下で実施されたが、その中で、災害対策本部でのブラインド訓練において、災害対策委員の把

握が出来ていないようだったが、備えは万全なのか。

(答) 初めてのブラインド訓練ということで、情報伝達が災害対策委員にうまく伝わらなかったという手違いによるものである。これを教訓として、再度、情報伝達の在り方について、見直しを行っていく。

市内の砂防管理について

(問) 先般、広島市では土石流が発生して人命を奪う甚大な被害に繋がったが、市内の砂防ダムの数と管理状況は把握されているのか。

(答) 市内には、旧日南市に66施設、旧北郷町に36施設、旧南郷町に29施設、計131施設の砂防堰堤があり、数年ごとに施設点検を日南土木事務所で行っている。あわせて土砂の堆積量の調査もされており、必要が生じた場合には堆積土の撤去を行っている。

女性職員の幹部登用について

(問) 第2次安部政権の組閣においても、5人の女性閣僚が誕生したが、日南市において、女性職員の幹部登用は進められないのか。

(答) 積極的な人材育成に努めながら、まずは女性の係長級職員を増やし、その中から課長補佐、課長へと段階的に女性登用を進める。



改政クラブ
中尾 貞美 議員

飢肥地区の空き家対策について

(問) 空き家が多いと聞くと対策はあるのか。

(答) 伝建地区内については、各種補助金等の支援により、空き家の減少に努めたい。

市道山川線横の河川について

(問) 8月3日の台風12号で、河川があふれ床下浸水が起こったと聞くと、解決策はないのか。

(答) 県と現地調査を行い、どのような対策ができるか検討したい。

飢肥街道等の充実について

(問) 江戸時代は冠木門があったといわれるが、復元できないか。

(答) 具体的な文献がないため復元は困難である。

山林補助のあり方について

(問) 取引価格に応じて、助成する支援制度はないのか。

(答) 実現可能な支援について、研究していきたい。

飢肥杉モデル住宅建設協議会について

(問) 飢肥杉モデル団地構想に向けた取り組み状況はどうか。

(答) 飢肥杉材利用促進のための



大雨時の市道山川線の河川状況

取り組みとして位置付けている。

中部病院のあり方について

(問) 経営健全化に向けては、どのように取り組んでいくのか。

(答) ほかの先進事例も参考にし、具体的な経営健全化策を整理していきたい。

子供の意見発表、参加の促進について

(問) 土別市では、子ども夢トークの中で、市長等が年間7校まわって、子供たちの意見を聞いたとのことだが、日南での現状はどうか。

(答) 子供たちの声に耳を傾けて、その自由な発想を大切にしていきたい。



改政クラブ
濱中 武紀 議員

平成25年度決算について

(問) 不納欠損額の中で増加している市税等の要因及び対策を問う。

(答) 5年経過等の時効消滅等が主な要因であり、今後は、税の不公平感をなくすよう併任人事による滞納対策等を更に強化する。

(問) 納め過ぎとなっている税の還付の原因と対策を問う。

(答) 全体の60%を占める原因が年金からの仮徴収であり、この制度は平成21年10月から施行された制度であり、今後は市民に対して分かりやすい説明文書の送付等の改善に努める。

森林活用について

(問) 多量の木材を使用するバイオマス発電所が日南串間に計画されているが、森林の利活用や保存計画を作成するのか。

(答) 森林保存のために、今後も原料供給協議会や発電事業者との連携を強化していく。

農業改革について

(問) 耕作放棄地等を含む農地の集積等の取り組みと課題を問う。

(答) 本年度は、モデル的な取り組み

みとして5つの地域で行う予定で地域と調整を行っており、今後も事業の周知を図っていく。

燃油対策について

(問) ハウスにおける県補助の木質ペレット暖房機の導入状況を問う。

(答) 平成21年度に2戸の施設が導入しているが、暖房機自体の価格が高い等の理由から、その他に導入希望者はいない。

(問) 重油を多量消費する漁業者は、現在のセーフティネット事業の単価では厳しいが対策を問う。

(答) 平成27年度以降の継続支援や、新たな支援制度の創設など、各団体と連携し要望活動を行う。

地方創生について

(問) 国において、地方創生本部が設置されたが、今後将来の本市の方針等を問う。

(答) 雇用創出や産業の再生など、地方が主体的に取り組めるよう国・県に働きかけていく。

土砂災害等について

(問) 大雨や台風時のタイムラインを整備する考えはあるのか。

(答) 事前防災行動計画、いわゆるタイムラインにつきましては、国の策定結果を参考に、気象台等の意見をもとに整備導入に向けた調査、研究を行っていく。



改政クラブ
田中 重信 議員

都市計画マスタープランについて

(問) 今回発表する重点戦略プランの前提となる、マスタープランの市民周知は十分に行われたのか。

(答) 3千人アンケートを行い、938人の回答を得た。また延べ505人の参加で意見交換を行い、行政への提案も頂いた。

(問) 市民意見は重点戦略プランに反映されたか。

(答) 市民発案による日南型コンパクトシティである、「拠点分散・ネットワーク型」都市構造のマスタープランとの整合性を図る。

活性化対策について

(問) 地域未来創造ワークショップ「市長と語る会」の成果を問う。

(答) 昨年は10ヶ所で570人の参加、本年度は4団体105人の参加を得た。市役所の見える化に努め、「共感と共汗のまちづくり」の実現につなげたい。

(問) 市長のトップセールスのポイントは何か。

(答) 豊かな地域資源に磨きをかけて活性化に活かし、商社感覚でフットワーク軽く新しいことに挑

戦する日南市を売り込むことである。

中部病院の経営改革について

(問) 過去10年間の一般会計繰入金差引前の累積赤字はいくらか。

(答) 29億8134万円である。

(問) 経営健全化検討委員会の取り組みについて問う。

(答) 12月にアクションプランを策定し、意識改革や接遇に関する院内検討委員会を新たに立ち上げ、外部識者を含む評価委員会で、経営健全化の進捗管理を行う。

高齢社会対策について

(問) 地域との連携を問う。

(答) 自治会や地域連携組織の活動環境を整備し、地域包括ケアシステムの構築を推進して介護予防・日常生活支援総合事業を行う。



市民提案によりLINEスタンプが製作された、にちなんちゃ様。



新生日南会
川越 昇 議員

地域活性化について

(問) 山間地における活性化対策について、市長の考えはどうか。

(答) 地域に誇りと愛着を持って住み続ける人の確保、移住者や交流人口の増加、さらに安心して生活できる環境や農林資源が豊かである特性を活かした産業の振興に努める。

(問) 農林水産物直売所による地域活性化について、支援拡充はできないか。

(答) 15ヶ所の各直売所がそれぞれに独自性を生かしながら運営をされており、今後は事業内容の精査を含め、各直売所の判断の基に、総合的な観点から検証する。

(問) 北郷地区に物産センターを開設する考えはないか。

(答) 現在のところ整備計画はないが、インターチェンジ周辺及び北郷町総合支所付近を含めた土地利用の観点から、周辺農地の活用や産業拠点の形成、定住促進などを含めた地域にふさわしい土地利用のあり方について、現在庁内で検討作業を行っている。

農業振興について

(問) マーケティング戦略として、フルーツランド構想に取り組む考えはないか。

(答) 今後とも、日南市果樹産地構造改革計画に基づき、かんきつ類やマンゴーを中心とした、果樹の周年出荷体制の充実を図る。

(問) 6次産業化について、今後の施策はどうしていくのか。

(答) 今年度から、日南市雇用創出プロジェクト会議が、実践型地域雇用創出事業の中で、事業化をめざす人材育成や新商品開発セミナーを実施する。

(問) 加工用米生産について、次年度の計画はどうなっているか。

(答) 3年間の契約栽培が約束されており、来年度は今年度以上の作付が見込まれ、今後関係機関と調整しながら進める。

健康づくりについて

(問) 「健康ウォーキングの日」を設ける考えはないか。

(答) 「ウォーキングの日」の制定は検討していないが、ウォーキングを含め個人に合ったスポーツや運動を行うことは、非常に効果があるので、まずは気運の醸成に努める。



新生日南会
谷口 慎二 議員

ふるさと納税について

(問) 本市におけるふるさと納税の現状はどうか。

(答) 25年度は56件の712万円である。

(問) 日南市民が他の自治体へ納税している状況はどうか。

(答) 25年度13件の約176万円である。

農業振興について

(問) 人・農地プランについて今後の見直しの中、農地中間管理機構の事業をどのように取り組み、推進していくのか。

(答) 今年度は5地域で取り組み、今後、その他の農業振興地域内の地域においても、樹園地、畑地を含め事業に取り組んでいきたい。

(問) 有害駆除班の高齢化に伴い若手の狩猟免許取得費に対して助成はできないか。

(答) 猟友会の捕獲班への加入促進を図りつつ、狩猟免許取得助成制度についても研究していく。

大島再生について

(問) 大島は観光資源、情報発信



大島にある鞍崎灯台

として必要と考えるが、行政主導で再生できないか

(答) 日本最古の無筋コンクリート造りの鞍崎灯台などの重要観光資源の活用やマリンスポーツ等の観光産業を始め、民間活力による大島振興が図られるよう、努めていく。

公共施設等管理計画策定について

(問) 本市の策定状況はどうか。

(答) 27年度から着手し、28年度までの2ヶ年間で策定する予定である。

(問) 住民との意見交換などによる、計画策定はできないか。

(答) 市民の皆様や関係団体等への説明会を考えており、方針については市民のコンセンサスを得て決定したいと考えている。



緑青会
松本 弘 議員

観光行政について

(問) 日本唯一のジャカラダ群生地である道の駅なんごうで今年も盛会の内が祭りが開催された。今年状況を見られての感想と今後の展開についての考えは。

(答) 今年の、ジャカラダ祭は、5月24日から6月22日までの、30日間にわたり開催され、来場者数について同実行委員会によると、昨年の7万5千人から1万4千人の増加となり、過去最高の8万9千人であった。今後は、これまでの取り組みに加え、商店街において、ジャカラダ関連商品の販売や、ジャカラダまつりのノボリを立てるなど、まつりによる経済効果が市内全域に及ぶような取り組みを同実行委員会及び関係団体と連携して行っていく。

人口減少対策について

(問) 全国で人口減少は地方の努力だけでは限界があると言われていたが、市長はどのように考えているか。

(答) 日本全体の人口減少が進むなか、地方の人口減少に対する



南郷町のジャカラダ群生

一番の課題は、いかに若者の都市部への流出を止めるかにかかっている。この地で生まれ育った若者が、地元で仕事を獲得し、家族をつくり、年を重ねてゆくためには、地元で雇用を創出しなければならぬ。そのためには、東九州自動車道の早期開通や、油津港の整備など社会基盤整備を着実に前に進めうえて、現在進めているマーケティングによる産業の振興や企業家の誘致等に引き続き積極的に取り組んでいく。さらに、国や県の、まち・ひと・しごと創生に関する動向を注視しつつ、現在、策定を進めている重点戦略プランにおいても、雇用創出を大きなテーマの一つとして取り組んでいく。



緑青会
甲斐 登 議員

市長の政治姿勢について

(問) 合併に際し、周辺(北郷・南郷)のサービスの低下や、疲弊がないよう均衡ある発展を度々唱えてきた。市は、北郷・南郷のために何を、どのようにしたか。

(答) 北郷地域には、森林セラピー事業や、バイオマスのチップ加工施設の着工、また、東九州道北郷インター付近の活用について官民協働での検討が始まっている。南郷地域では「港の駅めいづ」が拡充され、農林高校跡地の福祉施設の整備も進んだ。市は、今後も、市全域が活性化し、発展するよう、積極的に取り組んでいく。

(問) 市長は、今回の組織見直し(案)で、北郷・南郷両総合支所の農政業務を本庁へ移管しようとしている。合併時、90人いた北郷総合支所の職員は19人になる計画である。農政という基幹産業に関りある業務を移管するということは、農民へのサービス低下である。考え直すべきではないか。

(答) 今後、農業の振興を図っていくためには、市の組織も力を分散

することなく、効率的に展開するほうが、農業振興につながると判断した。

防災について

(問) 広島では、記録的な豪雨により、大災害が発生した。行政の対応が不十分との指摘もあったが、日南市の備えは十分か。

(答) 各自治会や、自主防災組織、学校等に向いて、資料を使いながら危険箇所を説明、さらに、防災マップの全戸配布等、周知徹底を図っている。

(問) 職員や消防隊員の待機基準はどうなっているか、ボートの配備計画は進んだか。

(答) 警報発令と同時に情報連絡本部を立ち上げ約15人の職員が配備に就く。また、ボートについては、今年度、北郷、南郷出張所に1艇ずつ配備する予定である。今後も、年次的に配備をしていく。

(問) 医療費抑制の一環としてゲートボール、パークゴルフ、四半的等、数多く活動されている高齢者に対し、助成する考えはないか。

(答) 市民の皆様は、健康増進と生きがいを高めることを目的として、活動されている団体に対し、支援を



緑青会
井上 進 議員

油津港の整備見直しについて

(問) 油津港の整備促進中である耐震岸壁の場所、大型クルーズ船の寄港桟橋及び釣り堀公園を設置するよう県に要望しないか。

(答) 将来的な課題とし、国、県とともに研究する。

市道平野線の整備状況について

(問) 整備中ではあるが、早期に期成同盟会を設置し整備を図れ。

(答) 東九州自動車道のインターチェンジが平野地区に予定されていることから、国、県と整備手法を検討していく。

(問) 関連する市町との整備促進期成同盟会の設置を図れ。

(答) 重要な路線であり、東九州自動車道、国道220号の整備状況を勘案し、判断する。

(問) 赤レンガ館の河野邸の整備を図れ。

(答) 今後検討する。
(問) 堀川運河の周辺整備を図れ。
(答) 上流部分は未定であるが検討



日南市政総合推進対策特別委員会で視察した、静岡県袋井市の避難タワー

する。

(問) 日南郵便局横のゲオ跡地の整備を図れ。

(答) 魅力あるので検討したい。
(問) 飯田病院跡地の整備を図れ。
(答) 活用や運営方法を決定したい。

津波・地震対策について

(問) 大津津地区の避難タワーは検討した結果は如何か。

(答) 今年度中に示したい。
(問) 本庁舎の改築検討は如何か。
(答) 市民公募4人、自治会代表3人、関係団体3人、行政職員3人で検討中である。

法定外道路の管理体制について

(問) 国から譲渡された法定外(里道)等の管理は対応出来るのか。
(答) 管理体制は出来ている。

番号	議案名	審議結果	
		委員会	本会議
陳情第37号	日南市福祉バスの借り方に関する陳情書	継続審査	継続審査
陳情第38号	高齢者クラブの日南市福祉バスの借用に関する陳情書	継続審査	継続審査
請願第39号	「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書	不採択	不採択
請願第40号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書	採 択	採 択
議員提出議案第37号	森林整備加速化・林業再生事業の継続を求める意見書	—	原案可決
議員提出議案第38号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	—	原案可決
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
諮問第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
諮問第7号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
諮問第8号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意

賛否結果一覧

賛否の別れた議案等における、会派ごとの賛否結果は以下のとおりです。
 なお、表中の記号は次のとおりです。（○=全員賛成 ×=全員反対 △=一部賛成）

議案番号	議案名	改政クラブ	新生日南会	緑青会	市民クラブ	公明党日南市議団	日本共産党日南市議団	日南ルネサンス	無党派
認定第1号	平成25年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第2号	平成25年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第3号	平成25年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第67号	平成26年度日南市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第75号	日南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	×	○	○
請願第39号	「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書	△	×	×	○	×	○	△	×

注1) 議長は採決には加わりません。
 注2) 請願第39号は原案についての表決です。

議会報告会『市民と語る日南市議会』を開催します！

5月に引き続き、「市民の声を市政に反映させること」を目的に、市民との意見交換を主とした『市民と語る日南市議会』を下記の3会場で開催いたします。
 全市民の方を対象としておりますので、いずれの会場でも参加が可能です。皆様のご参加をお待ちしています。

【開催日時】

日 時	地区名	会 場
11月11日（火）午後7時～	油津地区	まなびピア 視聴覚室
11月12日（水）午後7時～	東郷地区	東郷公民館
11月14日（金）午後7時～	酒谷地区	酒谷支所

※報告会は1時間30分から2時間程度を予定しています。

審議結果一覧

※平成26年第4回定例会の審議結果を掲載しております。



番号	議案名	審議結果	
		委員会	本会議
報告第16号	専決処分の報告について	—	終了
報告第17号	専決処分の報告について	—	終了
報告第18号	平成25年度日南市健全化判断比率の報告について	—	終了
報告第19号	平成25年度日南市公営企業資金不足比率の報告について	—	終了
報告第20号	専決処分の承認を求めることについて	—	原案承認
認定第1号	平成25年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第2号	平成25年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第3号	平成25年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第4号	平成25年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第5号	平成25年度日南市病院事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第6号	平成25年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第7号	平成25年度日南市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第8号	平成25年度日南市漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第9号	平成25年度日南市公設合併処理浄化槽特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第10号	平成25年度日南市公共下水道事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第11号	平成25年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第12号	平成25年度日南市水道事業決算の認定について	原案認定	原案認定
議案第66号	平成25年度日南市水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決	原案可決
議案第67号	平成26年度日南市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	原案可決
議案第68号	平成26年度日南市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第69号	平成26年度日南市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第70号	平成26年度日南市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第71号	日南市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	原案可決
議案第72号	日南市立学校林等基金条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第73号	油津赤レンガ館条例	原案可決	原案可決
議案第74号	日南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決	原案可決
議案第75号	日南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	原案可決
議案第76号	日南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	原案可決
議案第77号	市道路線の認定について	原案可決	原案可決

議 会 日 誌

(7月から10月上旬・抜粋)

【7月】

- 2日 日南市政総合推進対策特別委員会要望活動
(県・国土交通省・県選出国議員ほか、4日まで)
- 6日 大山ロイヤルホテル「日南美食フェア」出会
(伯耆町 7日まで)
日南ルネサンス会派視察研修
(伯耆町、倉敷市 8日まで)
- 9日 全員協議会
- 14日 日南ルネサンス会派視察研修
(名護市、糸満市、宜野湾市 16日まで)
- 18日 東九州自動車道建設促進地方大会(志布志市)
- 23日 熊本県菊陽町議会が行政視察のため来訪
- 28日 社民クラブ会派視察研修
(豊後高田市、大分市、鹿児島市 30日まで)

【8月】

- 5日 新生日南会派視察研修
(八戸市、田村市 7日まで)
- 6日 全国市議会議長会研究フォーラム
(岡山市 7日まで)
- 7日 東九州自動車道・国道220号要望活動
(国土交通省 8日まで)
- 18日 日南市政総合推進対策特別委員会
- 19日 緑青会会派視察研修(小樽市、砂川市 21日まで)
- 21日 改政クラブ会派視察研修
(千歳市、土別市 23日まで)
- 26日 日南市政総合推進対策特別委員会視察研修
(高松市、大府市、袋井市 28日まで)

【9月】

- 1日 議会運営委員会
- 8日 第4回定例会開会、
全員協議会、議会だより編集委員会
- 9日 本会議(質疑)、予算審査特別委員会、
決算審査特別委員会
- 18日 本会議(一般質問)、議会運営委員会
- 19日 本会議(一般質問)
- 22日 議会運営委員会、本会議(一般質問)
- 24日 本会議(一般質問、議員提出議案採決)、
議会改革特別委員会
- 25日 常任委員会審査

【10月】

- 1日 予算審査特別委員会、全員協議会、
本会議(採決)、決算審査特別委員会、
議会だより編集委員会
- 2日 決算審査特別委員会審査(3日まで)
- 9日 決算審査特別委員会、本会議(採決)、
第4回定例会閉会、
日南市政総合推進対策特別委員会、
議会だより編集委員会

トピックス

猿が議会傍聴にやってきた!?

去る9月25日の正午頃、議会棟に猿が侵入しました。猿は体長およそ1mと非常に大きく、中央こども保育園に現れた後、議会棟にやってきたようです。

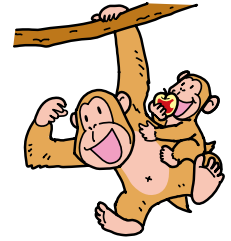
この猿は、議場用の2階トイレに30分程居座った後、トイレのガラスを割って外に逃げ出しました。

当日は平日で、保育園には子ども達もおり、また議会棟も議案の委員会審査の真っ最中で、多くの議員や当局職員がおりました。

幸いけが人がでなかったようで、一安心です。

冬に向け、猿たちも餌集めに必死なのでしょう、市街地にまで現れることに驚きました。

市民の皆さまにおかれましては日頃からお気を付けいただき、市街地で発見された場合は、市民生活課市民生活係(Tel.31-1176)にご一報ください。



■平成26年第5回(12月)定例会の予定■

- 11月25日 開会、本会議
- 26日 本会議(質疑)
- 12月4日 本会議(一般質問4~5日、8~9日)
- 10日 常任委員会審査(10~12日)
- 16日 本会議(採決)、閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更になることがあります。

■ご意見をお待ちしております■

議会だよりに関するご意見・ご要望等がありましたら、下記までご連絡ください。

TEL 0987-31-1142 FAX0987-31-1778

E-mail gikai@city-nichinan.jp

《発行者》 宮崎県日南市議会

〒887-8585 日南中央通一丁目1-1

電話：0987-31-1142(直通)

FAX：0987-31-1778(直通)

編集後記

気象庁は、8月の台風11号と12号や、前線の影響で、西日本各地に大規模な被害が出た記録的な大雨を、「平成26年8月豪雨」と命名しました。特に広島県で発生した大規模土砂災害は、多くの方が犠牲となりました。また、御嶽山火山噴火災害では、国内の噴火災害としては、戦後最悪の被害者数となりました。犠牲となられた方々に、心よりお悔やみを申し上げます。

日南市は、東日本大震災の教訓から、日南市地域防災計画を今年6月に改正しましたが、自然災害対策へのさらなる取り組みが重要です。

今定例会からの一般質問は、一括質問だけでなく、質問の一部またはすべてを、一問一答で行う方式も採用されました。市民の皆様は、市長と議員とのやり取りをできるだけ、分かりやすくするための試行期間ですので、今回の反省などを踏まえ、今後に活かしてまいります。

また、今回の議会だよりは、11月に実施される議会報告会の資料として使われます。今後も、分かりやすく、見やすい議会だよりを目指し、創意工夫してまいります。

【議会だより編集委員会】

- 記 黒部俊泰
- 委員長 深川 保典
 - 副委員長 林 一彦
 - 委員 和足 恭輔
 - 委員 山田 慎一
 - 委員 谷口 慎二
 - 委員 倉岡 郁夫
 - 委員 黒部 俊泰